

Weekly・Monthly

体験学習ガイド NO.7 (12/17)

□石川塾のあれこれ⑦<生徒募集中(午前)>“ミツキ先生”の2歳からの幼児教室

(“プロフィール”)幼稚園受験、小学校受験、2児の子育て、看護師の経験を活かした就学前に身につけるべき「生活」「運動」「社会性」「ことば」「巧緻性」「知能」そして、**発達段階**を踏まえた学習を提供いたします。保護者の方のご希望をお聞きしながら学習計画を一緒に考えていきます。まずは**3回無料体験**を!!

<12月~1の開講・相談受付予定 ~午前~>

12/21 (金) 1/7 (月) 1/11 (金) 1/15 (火) 1/18 (金) 1/21 (月) 1/25 (金) 1/28 (月) その他の日程も相談に応じます。いつでも気軽にご相談ください。お電話お待ちしております。☎042-710-5768

□石川塾のあれこれ⑧<師走の海>12/9 逗子駅~披露山~小坪~材木座~由比ガ浜~片瀬江/島

四大家族2組と石川先生の計9名で逗子駅を出発しました。今回はお友達家族と一緒にということで、娘たちは前日から張り切っていました。スタートから先生にしっかりついていき、披露山を登る際は先生より先に頂上目指して走って行きました。まるでクロスカントリーでもやってるように…。一足先に頂上に着いた娘たちは「おーい!!みんな頑張ってる」と大声で叫んで大人たちを励ましてくれました。海岸に出てからは…すぐに足止め。貝殻拾いに夢中になって、ひたすら拾っていました。桜貝やら巻貝やらツノ貝やらホタテ貝やら…。ジップロックはすぐに満員になりました。そして…調子に乗って真冬の海に入ってしまった。水温は暖かいので、初めは平気に波打ち際を走っていた娘たちも次第に足に刺すような…ひりつくような痛みを感じ…寒い寒い…。いい経験になったと思います。「もう絶対冬の海は入らない!!」と決意表明していました。着替えてホッカイロを足と背中に貼り、再び浜辺歩き。波打ち際から離れて…次は砂の山や川を作って遊んでいました。ゴールしてから砂遊び…。無邪気に遊ぶ娘たちの姿がとてもかわいらしい思い出となりました。

●リホさん(小1)のお母さんからの VOICE■



□読書の時間⑦ ~『漂流』吉村昭/新潮文庫~



石川塾長にお勧めしていただいた歴史小説です。江戸・天明年間、シケに遭って黒潮に乗ってしまった男たちは、不気味な沈黙をたもつ絶海の火山島に漂着した。水も湧かず、生活の手段とてない無人の島で、仲間の男たちは次々と倒れて行ったが、土佐の船乗り長平はただひとり生き残って、12年に及ぶ苦闘の末、ついに生還する。その生存の秘密と、壮絶な生きざまを巨細に描いて圧倒的感動を呼ぶ、長編ドキュメンタリー小説。事実に基づいています。過酷な状況におかれたとき、生死をわけるものが何か考えさせられますが、実際、現代人が同じ状況におかれたらこんな風に知恵を振り絞って生き抜くことができるだろうか。人間の生きようとする力に感銘をうけます。

□聞いてみよう・やってみよう⑥ ~苦手な国語~ドイツから日本へ中学受験に向けて④~

<6月に取り組んだこと>朗読暗唱、漢検7級受検、速音読

論語。長くて覚えるのに苦労したようだが、一発合格できて喜んでた。方丈記に苦戦中。難しい日本語が多く、全体の意味がピンとこないためか、覚えられたのは半分だけ。単なる口語訳ではなく、何か子供にも分かりやすく解説した書物はないかと探してみたところ、「ゆく河の流れは絶えずして」(齋藤孝編・ほるぷ出版)という絵本を見つけたので早速購入。何とも味のある和尚と犬の絵に鴨長明の原文が載っかって、子どもにも「方丈記」の世界観がイメージしやすかったようだ。◆漢字検定7級受検後「分からない問題が少しあったけど、たぶん合格していると思う。」余裕のコメント。漢検7級合格!!初めて挑んだ漢検。自分の予想よりうんと高得点での合格に、本人も大喜び♪次も満点を目指して頑張ろう!そういえば、ハンブルグ日本人学校でも、英検や漢検を受験することができ、多くの児童生徒が受検していたのを思い出した。当時は遊ぶのに夢中で、検定の類には見向きもしなかったが、「みんな、こうやってコツコツと努力していたんだろうね…」と親子でしみじみ。◆先日、首都圏模試なるものを初めて受けてみた。今回の模試では、驚くことに(!?)記述問題もしっかりと埋めてある。以前に比べれば**正答率も高くなった**。記述問題の解答欄に「記述」できるようになっただけでも、大きな進歩である。今回の解答用紙を見る限り、とりあえず問題文を最後まで読んで、正誤はさておいても、設問の意味も理解できているようだ。春に、「問題文を読んでいたら途中で文字がグルグル回ると、何を聞かれているのかも分からない」と言い出した頃の事を思い返すと、**読み書き算数塾に通い始めて国語力がついてきたこと**がよくわかる。

●ソウシくん(小5)のお母さんからの VOICE■「VOICE2018(夏号・秋号)」より